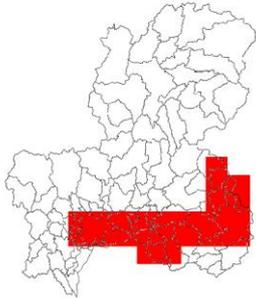


アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R.Br.	絶滅危惧Ⅱ類
		マチン科
選定理由	生育地と個体数が急激に減少している。	写真(岐阜大学教育学部標本室)
形態の特徴	高さ1cm前後の1年草。葉は2-4対が対生し、長楕円形あるいは卵形、長さ8-14mm、幅3-5mm。茎と葉腋から出た枝の先に1個から数個の花を散形状につける。萼は鐘形、先は4裂する。花冠は鐘形で先が4裂し、直径約2.5mm、白色。	
生態的特徴	明るい湿地に生育する。花期は8-9月。	 
分布状況	東アジア、ミクロネシア、オーストラリアに分布し、日本では本州から沖縄まで見られる。岐阜県では県南の中部と東部にある。	
減少要因	開発による生育地の破壊が主な原因で、湿地の遷移の影響も考えられる。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘